

## 編集顧問

|       |       |
|-------|-------|
| 生田 房弘 | 臺 弘   |
| 大友 英一 | 金澤 一郎 |
| 酒田 英夫 | 島津 浩  |
| 杉田 秀夫 | 高倉 公朋 |
| 塚田 裕三 | 中里 洋一 |
| 彦坂 興秀 | 平山 恵造 |
| 藤澤浩四郎 | 真柳 佳昭 |
| 萬年 甫  | 水野 美邦 |
| 柳澤 信夫 |       |

## 編集委員

|             |       |
|-------------|-------|
| 岩田 誠 (編集主幹) |       |
| 石塚 典生       | 糸山 泰人 |
| 内山真一郎       | 梶 龍兒  |
| 河村 満        | 高坂 新一 |
| 作田 学        | 辻 省次  |
| 寺本 明        | 中込 忠好 |
| 中野 今治       | 水澤 英洋 |

## 編集同人

|       |       |
|-------|-------|
| 入来 篤史 | 岩田 淳  |
| 宇川 義一 | 内原 俊記 |
| 大隅 典子 | 岡部 繁男 |
| 神田 隆  | 木村 和美 |
| 久保 義弘 | 栗栖 薫  |
| 桑原 聡  | 小林 靖  |
| 斉藤 延人 | 砂田 芳秀 |
| 高橋 良輔 | 瀧山 嘉久 |
| 武田 伸一 | 千葉 厚郎 |
| 平田 幸一 | 寶金 清博 |
| 星 英司  | 星野 幹雄 |
| 本田 学  | 松野 彰  |

(五十音順)

## あとがき

3月11日に東北・関東を襲った大地震と津波は、未曾有の大惨事を惹き起こすこととなってしまった。津波の恐ろしさは想像を絶するものであり、テレビに映る、まるで65年前の大空襲の後の東京のような、跡形もなく破壊された海沿いの町々の様子は、まったく信じられない光景であった。その後、津波が押し寄せてきて町を飲み込んでいく様が、テレビでも繰り返し報道されるにつれ、津波というものの姿がみえてきて、その破壊力の恐ろしさが理解できるようになった。津波以外の何が、これほど広い範囲の町を一瞬にして破壊しつくし、これほどまで多くの人命を奪っていくことができるであろうか。犠牲者の数が日に日に増えていく中、どのような言葉でその突然中断された命に哀悼の念を捧げればよいのか、どのようにすれば残された方々と悲しみを分かち合うことができるのか、胸が張り裂けるような思いを禁じ得ぬまま、犠牲者の方々のご冥福を祈り続けている毎日である。

それにも増して悲しいのは、原子力発電所の危機的事故によって、地震や津波の災害に追い討ちをかけられて避難された方々の存在である。原子力の平和利用という旗の下、原子の火を制御できる力を得たと信じていた人類も、自然の破壊力の前にはまったく手も足も出ないことを、これほどまで思い知らせてくれることはない。連日連夜放映されていく福島原発事故のニュースに、日本中の人々は、限りない不安といいようのない憤りを抱き続けている。

そんな中で腹立たしいのは、無用の不安をあおるようなネット情報の氾濫である。天皇が京都御所に避難されたというデマに踊らされて、一斉に東京から京都への exodus が始まったり、今回の地震はユダヤ人が仕掛けた海底爆弾によるものだといって、ユダヤ人に対する偏見をあおったりするのは、言語道断であるが、首都圏におけるガソリンや水、パンなどの買い占め行動にも、ネット情報の扇動的な発言によるところが大きいように思われる。信頼できない政府の発表に対し、一般の人々が一抹の不安を抱く気持ちはよくわかるが、それをあおるような情報を流す人々には怒りを感じる。

私には、半世紀も前、大学教養学部時代に机を並べたクラスメートのメール網があり、地震と津波の被害の有無と安否の確認から始まったメールのやり取りが、原発事故以来はこの事件に関する情報交換になり、毎日全員に何通ものメールが来る。生物学者、原子力科学者、物理学者、環境学者、植物肥料学者、さまざまな分野のエキスパートたちが直に伝えてくれる貴重な意見や、参考になるさまざまな情報・資料が得られるということで、私自身は比較的冷静に事態の経過を見守っていることができていた。今回の大災害は、情報の渦の中でわれわれはどう判断し、どう行動できるのかということを、再認識させる機会になった。君子和而不同 小人同而不和。古人の知恵は今でも有用である。

(岩田 誠)

## BRAIN and NERVE

(第63巻 第5号)

2011年5月1日(毎月1回1日発行)

定価2,730円〔本体2,600円+税5% (配送料実費)〕

2011年 年間購読料(税込み、配送料弊社負担)

冊子のみ35,460円、冊子+電子版46,100円、電子版/個人35,460円、

電子版/共有40,780円

販売部直通電話 (03)3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5701 (小藤・多淵・山崎)

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn

印刷所 ㈱アイワード (011)241-9341

広告申込所 ㈱ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2011, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は㈱医学書院が保有します。
- ・JCOPY <㈱出版者著作権管理機構委託出版物>  
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に㈱出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。